

第 82 回日本弱視斜視学会総会

会 期 ●2026 年 6 月 5 日(金)・6 日(土)

会 場 ●Niterrra 日本特殊陶業市民会館 フォレストホール
〒 460-0022 愛知県名古屋市中区金山一丁目 5 番 1 号

会 長 ●横山吉美(JCHO 中京病院眼科)

学会ホームページ ● <https://convention.jtbcom.co.jp/jasa2026/>

プログラム(予定) ●特別講演, シンポジウム, 日本弱視斜視講習会, 一般演題(口演・学術展示), ラン
チョンセミナー, アフタヌーンセミナー, 器械展示・書籍展示
※詳細は, 学会ホームページの「プログラム」ページにてご案内いたします。

演題募集 ●一般演題募集: 2026 年 1 月 8 日(木)~2 月 19 日(木)

※詳細は, 学会ホームページの「演題登録」ページにてご案内いたします。

参加登録 ●事前参加登録: 2026 年 1 月 28 日(水)~5 月 8 日(金)

※詳細は, 学会ホームページの「参加登録」ページにてご案内いたします。

運営事務局 ●株式会社 JTB コミュニケーションデザイン

コンベンション第二事業局内

〒 530-0004 大阪府大阪市北区堂島浜 1-1-27 堂島浜タワー 5 階

e-mail: jasa2026@jtbcom.co.jp

学会告知板

第 30 回 公益社団法人 日本網膜色素変性症協会(JRPS)研究助成のご案内

公益社団法人 日本網膜色素変性症協会 (Japanese Retinitis Pigmentosa Society, JRPS) では、網膜色素変性とその類縁疾患の治療法開発のための研究に対し助成を行っております。第 30 回の応募要項は以下の通りです。

対 象 ●網膜色素変性、網脈絡膜変性、ロービジョンに関する研究を行う研究者、または診療、教育、研究機関

研究期間 ●2026 年 4 月から 2027 年 3 月までに完結見込みの研究

助成金額 ●100 万円 2 名(うち 1 名はライオンズ賞として、40 歳以下の若手研究者を対象とします。)

応募方法 ●① JRPS 研究助成申請 受付専用サイトよりご応募ください。

② JRPS 研究助成申請 受付専用サイトでは、指定フォームに、研究代表者名(フリガナ、生年月日)、研究機関名、住所、電話番号、e-mail アドレス、研究題目、研究実施計画(1,200 字以内)、研究計画と直接関係する業績目録を記入(直接入力)してください。

③関係する論文の別冊等、フォームに直接入力する以外の提出する資料は、すべて PDF ファイルに変換したうえで、ファイルを応募サイトよりアップロードして提出してください。

締め切り ●2026 年 2 月 28 日

選考方法 ●JRPS 学術審査委員の審査に基づいて理事会で決定し、結果は 2026 年 6 月中に研究代表者にご連絡します。

学術審査委員長：三重大学大学院医学系研究科 臨床医学系講座 眼科学 教授 近藤峰生

お問い合わせ ●〒 102-0072 東京都千代田区飯田橋 2-4-10 加島ビル 3 階

公益社団法人 日本網膜色素変性症協会 事務局

Tel : 03-6261-0321 / Fax : 03-6268-9308 / e-mail : info@jrps.org

ホームページ : <https://jrps.org>

学会告知板

第 29 回 公益社団法人 日本網膜色素変性症協会(JRPS)研究助成審査結果のご報告

第 29 回 JRPS 研究助成は、JRPS 学術審査委員の厳正な審査により、次の 2 件に決定いたしました(敬称略)。

[100 万円]

後藤健介(大阪大学 ヒューマン・メタバース疾患研究拠点)

「ゲノム医療実現に向けた高頻度病変変異の検証」

[ライオンズ賞 100 万円]

小野 喬(東京大学医学部附属病院 眼科・視覚矯正科)

「リン脂質リサイクル経路不全に伴う網膜色素変性のメカニズム解明と新規治療法創成」

第 258 回 O.C.C. ご案内

日 時 ●2026 年 3 月 7 日(土) 13:30~16:30

場 所 ●大阪大学中之島センター 10 階 メモリアルホール
〒 530-0005 大阪府大阪市北区中之島 4 丁目 3 番 53 号

テーマ ●「網膜硝子体手術 update 2026」

※話題提供者は 2025 年 12 月 31 日(水)までに下記へ FAX でお申し込みください。

連絡先 ●大阪大学大学院医学系研究科眼科学教室

Tel: 06-6879-3456 / Fax: 06-6879-3458

第 23 回近畿弱視斜視アフタヌーンセミナー案内

—弱視・斜視の基礎と最新情報シリーズ—

「弱視・斜視の基礎・臨床と最新情報—その 8—」

期 日 ●2026 年 2 月 28 日(土) 14:45~17:15

開催形式 ●Web 開催 + オンデマンド配信

講 演 ●1. 不同視・不等像視の考え方

不二門 尚(大阪大学)

2. 片眼弱視の診断と治療

野村耕治(兵庫県立こども病院)

3. 弱視斜視診療の落とし穴

下條裕史(大阪大学)

4. NDB を用いた全国調査から分かった斜視のあれこれ

宮田 学(京都大学)

5. レチノスコーピー講習会

登録料 ●医師 3,000 円, 非医師 1,000 円

主 催 ●近畿弱視斜視研究会

(遠藤高生, 不二門 尚, 木村亜紀子, 雲井弥生, 初川嘉一, 稗田 牧, 三宅三平, 宮田学, 森本 壮, 村木早苗, 増田明子, 西 智, 野村耕治, 佐々本研二, 白井久美, 下條裕史, 杉山能子, 菅澤 淳, 近江正俊, 内海 隆, 横山 連)

参天製薬株式会社

事務局 ●森本 壮(大阪大学眼科学教室)

問い合わせ窓口 ●加藤大貴(参天製薬株式会社)

Tel: 0120-310-106 / e-mail: daiki.kato@santen.com

学会告知板

第 182 回九州大学眼科研究会のご案内

日 時 ●2025 年 2 月 15 日(土) 13:30 開会予定
 場 所 ●九州大学医学部百年講堂大ホール
 教育講演 ●内尾英一(福岡大学医学部眼科学教室, 教授)
 坂本泰二(鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 眼科学分野, 教授)
 申込先 ●〒 812-8582 福岡県福岡市東区馬出 3 丁目 1 番 1 号
 九州大学眼科学教室
 医局長 塩瀬聡美
 Tel: 092-642-5648 / Fax: 092-642-5663 / e-mail: oculus@med.kyushu-u.ac.jp
 ※研究会は日眼生涯教育事業(1 日 1.5 単位で申請中)に認定されております。

学会告知板

第 58 回眼科臨床病理組織研究会 (第 95 回九州眼科学会 内)

日 時 ●2025 年 5 月 31 日(土)予定
 会 場 ●アクロス福岡
 〒 810-0001 福岡県福岡市中央区天神 1-1-1
 演題募集 ●「第 58 回眼科臨床病理組織研究会」は,「第 95 回九州眼科学会」内のセッションとして開催いたします。眼腫瘍など病理組織の関連した演題を多数お寄せください。
 なお, 参加にあたりましては, 九州眼科学会への参加登録が必要となります。
 演題登録・参加登録は「第 95 回九州眼科学会」の HP よりお願いいたします。
 演題登録期間 ●第 95 回九州眼科学会の演題募集の締め切り日
 演題採用決定後, 発表症例の標本(H-E 染色)を事務局にお送りいただきます。
 詳細につきましては, 日本眼病理研究会事務局にお問い合わせ下さい。
 連絡先 ●日本眼病理研究会事務局
 〒 812-8582 福岡県福岡市東区馬出 3-1-1
 九州大学眼科
 担当 吉川: yossykp@mac.com
 沖崎: okizaki.fumie.435@m.kyushu-u.ac.jp
 Tel: 092-642-5648 / Fax: 092-642-5663

**公益信託 須田記念緑内障治療研究奨励基金
2025 年度 募集要項**

公益信託 須田記念緑内障治療研究奨励基金は、熊本大学において眼科学の指導研究、特に緑内障の研究・治療に永年尽くされました故須田経字名誉教授により設立されました。緑内障またはその治療に関する優れた研究を助成するため、下記要項により助成金交付申請を募集いたします。

1. 助成対象

緑内障に関する研究全般を対象とし、申請された研究課題に助成します。

2. 応募資格

- ① 日本眼科学会会員である者
- ② 申請時において年齢 45 歳以下の者
- ③ 緑内障を専攻し、臨床・研究を継続する意志のある者
- ④ 緑内障治療研究に実績のある者
- ⑤ 日本国籍を有する者
- ⑥ 自薦・他薦は問わない

3. 選考基準

- ① 研究計画が優れたものであり、かつ研究者の過去の実績等に照らし優れた成果が期待できること。
- ② 申請目的が緑内障治療研究に関するものであり、その資金使途が明確であること。
- ③ 申請内容に照らして、助成金の使途予定が適正であること。
- ④ 選考委員が申請者の遂行能力の高さを評価できること。
- ⑤ 選考委員が申請者の緑内障治療研究への貢献意欲の高さを認めることができること。

4. 助成件数および金額

1～3 件 総額 300 万円

(1 件あたり 100 万円を標準とします。)

- ・助成金を大学等の委任経理における間接経費に充当することはできません。
- ・学会参加費および旅費への支出は助成金額の 2 割以内に止めるものとします。

5. 応募方法

当基金所定の申請書に必要事項を記入し、後記宛先へご提出ください。申請書は後記照会先記載の URL からダウンロードしてください。なお、応募書類は返却いたしませんのでご了承ください。

6. 応募期間

2025 年 11 月 4 日(火)～2025 年 12 月 24 日(水)(当日消印有効)

7. 選考方法および通知

募集締切後に開催する当基金運営委員会において選考決定のうえ、2026 年 3 月上旬に申請者に書面でその結果をお知らせします。

なお、助成対象者の氏名・所属等につきましては、公表させていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。

助成金は、指定の銀行口座等(本人名義限定)へお振り込みします。

8. 助成金使用報告

助成対象の研究終了後、2026 年 12 月末までに次の書類を受託者宛に提出していただきます。

- ① 助成金使用報告書(領収証等の確証を添付ください。)
- ② 研究結果概要報告書(A4 縦判用紙 3 枚程度、様式自由)

学会告知板**【申請書の提出先・照会先】**

<郵送先>〒 105-8574 東京都港区芝 3-33-1

三井住友信託銀行 個人資産受託業務部 公益信託チーム

須田記念緑内障治療研究奨励基金 申請口

<電子メール宛先>申請書受付専用メールアドレス「kouekidenshi@smtb.jp」

※申請書受付後、メールにてご連絡いたします。1週間経っても連絡がない場合は、
お手数ですが下記電話番号宛お問い合わせください。提出に際し下記【電子メール
申請における留意事項】を確認のうえご提出ください。

<電話番号>03-5232-8910(受付：平日 9 時～17 時)

<申請書掲載 URL><https://www.smtb.jp/personal/entrustment/public/example/list>

HP 検索：

【電子メール申請における留意事項】

- ・電子メール宛先は、申請書受付専用メールアドレス「kouekidenshi@smtb.jp」宛、ご送信ください。
- ・メールの件名冒頭は必ず、【須田緑内障基金・〇〇〇(←申請者名)】と表記ください。
(この表記がない場合、受付できない場合がありますのでご注意ください。)
- ・書式は WORD, EXCEL, PDF 形式で、メールに添付してください。なお、郵便との併用は受付できません。
- ・電子メール 1 本あたりの容量は、必ず 20 MB 以下としてください。容量が 20 MB を超える場合は、メールを分割してご送信いただく等のご対応をお願いします。
- ・セキュリティ管理上、パブリックのファイル転送サービスはご使用いただけませんのでご注意ください。

(※)公益信託とは

個人の方が公益活動のために財産を提供しようという場合や、法人が利益の一部を社会に還元しようという場合などに、信託銀行に財産を信託し、信託銀行は公益信託契約で定められた公益目的に従ってその財産を管理・運用し、公益活動を行う制度です。

第 130 回日本眼科学会総会

会 期 ●2026 年(令和 8 年) 4 月 9 日(木)～ 12 日(日)

会 場 ●福岡国際会議場/〒 812-0032 福岡市博多区石城町 2-1

マリンメッセ福岡 A 館/〒 812-0031 福岡市博多区沖浜町 7-1

マリンメッセ福岡 B 館/〒 812-0031 福岡市博多区沖浜町 2-1

総会長 ●園田康平(九州大学大学院医学研究院 眼科学分野, 教授)

副総会長 ●吉富文昭(福岡県眼科医会, 会長)

プログラム委員長 ●平岡孝浩(筑波大学医学医療系眼科, 准教授)

テーマ ●夢見るまなざし

主 催 ●公益財団法人日本眼科学会

主管校 ●九州大学大学院医学研究院 眼科学分野

〒 812-8582 福岡県福岡市東区馬出 3-1-1

Tel : 092-642-5648 / Fax : 092-642-5663

事務局長 : 村上祐介

演題募集 ●締め切りました。

参加登録 ●事前参加登録 : 2025 年 10 月 1 日(水)～2026 年 2 月 20 日(金)

追加参加登録 : 2026 年 2 月 21 日(土)～オンデマンド配信(単位取得可能期間)終了まで
※今回の事前参加登録は, オンラインクレジットカード決済またはコンビニ決済での
オンライン登録のみです。郵便振替登録は行いませんのでご注意ください。

プログラム ●特別講演 1 : 大野京子(東京科学大)

特別講演 2 : 柏木賢治(山梨大)

代議員会指名講演 : 「小児眼科の進歩」

仁科幸子(国立成育医療研究センター), 近藤寛之(産業医大), 福岡葉子(大阪大)

招待講演 1 : Caroline Klaver (Erasmus Univ. Rotterdam, Netherlands)

招待講演 2 : Andrew D. Dick (UCL and Univ. of Bristol, UK)

シンポジウム<総会長枠> :

「アジアにおける眼科遠隔医療と公衆衛生」(日中韓眼科ジョイントシンポジウム 1)

「アジアにおける国際共同研究のあり方と展望」(日中韓眼科ジョイントシンポジウム 2)

「難病の治療が変わる! これからのゲノム科学とプレジジョン医療」

「チームアジアから発信する眼科新知見!!」

教育セミナー :

「臨床研究の基本」「眼科感染制御 ファクトチェック」「眼科診療に MRI は必要だ!」

「前眼部 OCT マスターを目指そう!」「先手必勝! 眼腫瘍 ～まず何を考え何をすべき

か～」「ERG をもっと臨床に役立てよう」「徹底解説! 乳幼児診察の基本手技と診療ボ

イント～目の前の赤ちゃん, あなたはどう診る?～」「遺伝学の最前線～JOS/JSHG

ジョイントセッション～」「日本型バイオイノベーションの進化: 産官学の協創戦略」

「専門医志向者トレーニングコース」

International Symposium :

<炎症・感染・アレルギー> 「Current Topics in Ocular Immunology and Uveitis」

<角結膜> 「The Cutting Edge of Corneal Research: Bridging Bench and Bedside」

サブスペシャリティサウンダー :

<前眼部疾患> 「もっと知ろう! 眼瞼炎」「多焦点眼内レンズの Now and in the

Future」「新しい治療でどう変わる? 角膜移植術の適応」

＜緑内障・視神経症＞「視神経疾患診断治療の不易流行」「緑内障診断の不易流行」
「緑内障治療の不易流行」

＜後眼部疾患＞「Lamellar macular hole 類縁疾患への理解」「裂孔原性網膜剝離の治療を極める」「RVO, DME の薬物治療の最前線」

＜小児眼科・眼腫瘍・視機能＞「それって本当にその病気？ ～専門家たちの事件簿～」
「AIに負けない眼科サブスペシャリティ」「ロービジョンケアを再構築する」
スキルトランスファー:

「眼科基礎研究スキルトランスファー～躍進する女性研究者の研究スタイルに学ぶ～」

The International Crosstalk Symposium by Young Ophthalmologists

Young Ophthalmologists Committee シンポジウム

一般講演，学術展示，専門医制度講習会，オルソケラトロジー講習会，屈折矯正手術講習会，共催セミナー（モーニング，ランチョン，アフタヌーン，イブニング，フェアウェル），（一社）日本眼科医療機器協会併設機器展示，市民公開講座「難病と視覚障害」
※詳細は随時ホームページにて公開させていただきます。

ホームページ ● <https://www.congre.co.jp/130jos/>

運営事務局 ● 〒 810-0001 福岡県福岡市中央区天神 1-9-17-11F

株式会社コングレ 九州支社

Tel : 092-718-3531 / Fax : 092-716-7143 / e-mail : 130jos@congre.co.jp

お問い合わせ等ありましたら，運営事務局までお問い合わせください。